

下京のひびき

市民しんぶん下京区版

9・15

推計人口	男	女
75,871人	34,958人	40,913人
世帯数	39,764世帯	
(平成19年8月1日現在)		

いきいきと暮らせる長寿社会 健やかに豊かな人生を地域の支えで

9月17日は「敬老の日」です。下京区は、65歳以上の人口割合が市の行政区の中で3番目に多く、平成18年9月15日現在で23・5%となっています。

また、高齢者人口は年々増加する傾向にあり、高齢者のみの世帯や独居の世帯も増えています。

区内ではそれぞれの地域で、お年寄りの生活を支援する活動が取り組まれ、長寿社会を支える大きな力となっています。

光徳学区でお話をうかがいました

区内の学区で3番目に人口の多い光徳学区では、70歳以上の高齢者の方も十人を超え、名簿の整理一つをとっても、敬老の日の取組には何かとこ苦勞が多いそうです。

光徳学区での敬老の日の取組は、区内で最も早い戦後間もない昭和23年から、学区自治連合会とともに発足した学区社会福祉協議会により行われてきました。バス10台で日帰り旅行をされていた時代もあったそうですが、現在は、70歳以上の方に赤飯と、新たに70歳になられた方に記念品を配られています。民生児童委員や老人福祉員をはじめ各種団体の方の協力で、各町内会長へ届けられた記念品など



赤飯と記念品の仕分け作業の様子

は、町内会長から一軒ずつに安否確認をしながらお祝いの言葉とともに届けられます。これらの活動を支えるために、学区挙げての古紙回収が貴重な財源でしたが、近年は古紙の価格低迷に悩まれているそうです。

光徳学区では、敬老の日以外でも高齢者の生活を支援する様々な取組が展開されています。配食サービスでは、心がこもった手作りの季節感あふれるお弁当など(6月の豆ご飯、10月の松茸ご飯、3月のちらし寿司、その他にも10月に月見だんご、12月にシュークリームなど)を約200人の



配食サービスの調理の様子



お箸袋に付けた手作りの千代紙細工のお難様は食べた後も大切にもらっています

外でも高齢者の生活を支援する様々な取組が展開されています。配食サービスでは、心がこもった手作りの季節感あふれるお弁当など(6月の豆ご飯、10月の松茸ご飯、3月のちらし寿司、その他にも10月に月見だんご、12月にシュークリームなど)を約200人の



「火の用心パトロール」の様子



ピース細工の様子

ひとり暮らし世帯に配っておられます。冬場には、3、4日かけて、自治連合会と自主防災会と消防分団とが協力して高齢者世帯を訪問してまわる、「火の用心パトロール」も実施されています。

また、年に11回開催される健康すこやか学級では、毎回数十人の皆さんがピース細工やフラワーアレンジメントなどを楽しんでおられます。

その他の行事でも、なるべく高齢者の方が自宅から出かけて、参加してもらえよう工夫を凝らしておられるなど、光徳学区では常に高齢者の幸せな日暮らしのための取組が進められています。

100歳 おめでとうございます

(五十音順)

- 石田 千代 さん(光徳)
- 大谷 静子 さん(有隣)
- 大野 繁 さん(有隣)
- 荻野 忠夫 さん(西大路)
- 杉野 いと さん(修徳)
- 竹田 富美子 さん(尚徳)
- 津田 敏子 さん(七条第三)
- 百々 もつ さん(七条)
- 益森 藤枝 さん(七条)
- 水野 ひい さん(七条第三)
- 宮崎 きみ さん(七条)
- 森川 あい さん(淳風)
- 森田 すへ さん(菊浜)
- 森本 八千代 さん(成徳)
- 安田 つる さん(七条第三)
- 山崎 マサ さん(尚徳)
- 四ヶ谷 清 さん(修徳)
- 若林 秀男 さん(成徳)

明治40年4月1日から明治41年3月31日までのお生まれで、今年度100歳を迎えられる下京区内の皆さんをご紹介します。

皆さんがお生まれになった100年前は「デカンショ節」が流行していたそうですね。これからも、お体に気を付けていただき、健やかに過ごしてください。

であいふれあい町衆のまち いきいき下京

下京区役所ホームページ <http://www.city.kyoto.jp/shimogyo/>

市政情報総合案内コールセンター

京都いつでもコール

電話 661-3755 FAX 661-5855

市への問い合わせに年中無休でお答えします。

午前8時～午後9時

電子メール

パソコン
<http://www.city.kyoto.jp/koho/cc/>
携帯電話
<http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>

次のホームページから送信できます